

(別紙)

## 岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）の構成

### 1 本県農業の現状

#### ①農業就業人口等の推移

- ・農業就業人口 82,477人(1995) → 38,736人(2015)
- ・農業就業人口の平均年齢 60.1歳(1995) → 68.7歳(2015)

#### ②経営耕地面積の推移

- ・農業経営体当たりの経営耕地面積 1.09ha(2010) → 1.22ha(2015)
- ・経営耕地面積5ha以上の経営体数 637経営体(2010) → 683経営体(2015)

#### ③農地集積率

- ・農地集積率 28.4%(2013) → 34.6%(2017)

### 2 目指す将来像と目標

#### 《将来像》

##### ①少ない人材での経営規模拡大の実現

GPS機能を活用したトラクターや田植え機等の自動運転やロボットの導入などにより、省力化・効率化が図られ、少ない人材でも経営規模の拡大が進んでいる。

##### ②経験年数等にかかわらず誰もが取り組みやすい農業の実現

トマトやイチゴなどの栽培で、温度、湿度などを計測し、最適な環境に自動で制御することで、経験年数等にかかわらず誰もが取り組みやすい農業が可能となっている。

##### ③単収の向上、高品質生産及び付加価値向上の実現

環境データや栽培データを収集、解析し、ICT等を活用した新たな栽培技術により単収の向上、高品質生産が進むとともに、付加価値の向上が進んでいる

#### 《5年後の目標》

項目	目標年次(2023)
スマート農業技術導入経営体数	550経営体
スマート農業に取り組む産地数	10
新たな栽培支援技術の開発数	5
スマート農業推進拠点における展示会・実演会等の開催数	15回
スマート農業技術研修及びセミナー等受講者数	5,000人

### 3 重点施策

#### ①情報集約・発信

- ・スマート農業推進拠点（岐阜県就農支援センター内）の整備  
　　＜モデル温室（1棟）、展示棟（1棟）＞
- ・最新機器の展示会、実演会の開催
- ・若者や女性を対象としたセミナーの開催 等

#### ②技術の実証

- ・スマート実証農場の設置
- ・農業用水等管理モデル地区の設置 等

#### ③技術研修

- ・就農研修拠点等が実施するスマート農業研修の実施支援（機器等の導入支援）
- ・スマート農業技術研修の実施 等

#### ④技術の普及

- ・スマート農業推進員の育成と県下全域への配置
- ・スマート農業機械等の導入支援 等

#### ⑤新技術の研究

- ・ICTを活用した新たな栽培支援技術等の開発

### 4 営農類型毎のスマート農業技術

農業者からの、「どのような技術が活用できるかわからない」、「導入した時の効果が知りたい」とのニーズに対応するため、営農類型毎にスマート農業技術を記載。

（ 営農類型：土地利用型作物（平坦地、中山間地）、施設野菜、露地野菜、果樹、花き、肉用牛、酪農、水産  
　　※上記のほか、鳥獣害についても記載あり ）

### 5 スマート農業技術導入モデル

導入費用、削減効果などを具体的な数値を示したスマート農業技術導入モデルを取りまとめ記載。

### 6 県内の活用事例

- ・県内の導入事例として、7事例を紹介。
- ・導入の経緯、効果などのほか、「機械を使いこなすためのポイント」や「導入後の苦労」、「今後導入する上でのアドバイス」などについて紹介。

### 7 推進体制

スマート農業を推進するため、農業者、農業関係団体、農機メーカー、大学、行政等を構成員とした「岐阜県スマート農業推進協議会」を設置し、施策の検討や目標の進捗状況の評価、検証を実施。